

昨年12月からスタートした「さかなのおはなし」も、1周年を迎えました。今回は、近年の八重山におけるイノーイユの漁獲量とそのセリ単価を紹介します。

八重山で多く獲られている魚は？

八重山産イノーイユの年間漁獲量（トン）

※ 背景が青色の集計魚種は、複数の種類を含んだ値

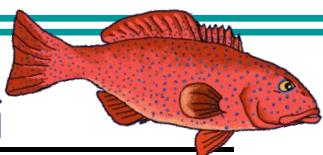
集計魚種名	和名	2008	2009	2010	2011	2012
いらぶちやー	ブダイ科複数種	33.2	32.8	31.9	30.8	26.0
おおぼちやー	ナンヨウブダイ	28.0	27.3	27.6	25.3	23.4
びたろー	小型ふえだい類	13.6	16.2	13.0	13.8	14.7
くちなぎ	イソエフキ	23.5	20.0	18.9	18.0	14.0
赤仁	スジアラ	19.1	13.1	12.0	9.9	8.7
たこくえー	ナミハタ	11.9	10.9	9.7	9.2	8.3
たまん	ハマフエフキ	17.4	17.0	13.1	9.8	8.0
あいご	アイゴ	16.2	14.2	10.6	10.0	7.2
ちぬまん	テングハギ	6.4	6.3	5.7	5.7	6.7
かたかし	ヒメジ科	9.7	10.1	9.8	8.3	6.6
長尾	バラハタ属	8.6	7.1	8.0	6.3	6.4

この統計は、八重山漁協、県漁連に出荷された八重山産のイノーイユの漁獲量を集計したものです。県漁連出荷分の中には、冷凍屋さん買い上げて県漁連に出荷したのも含まれています。統計上もっとも漁獲量が多いのは、「いらぶちやー」でした。しかし、「いらぶちやー」は、複数の種を含んだ合計の漁獲量であり、単一の種で漁獲がもっとも多かったのは「おおぼちやー（ナンヨウブダイ）」です。統計を見ると、過去5年間で漁獲量が伸びた種は一つもなく、ちぬまだけが横ばい、おおぼちやー、たこくえーでやや減少、くちなぎ、赤仁、たまん、あいごでは2008年に比べ**半分以下に激減**しています。



さかなのお値段

八重山産イノーイユの年間獲平均セリ単価



高級魚なんだぞっ！

	八重山セリでの単価（円/kg）					
	2007	2008	2009	2010	2011	2012
赤仁	1,932	1,749	2,064	1,793	1,802	1,744
まくぶ	1,422	1,331	1,413	1,150	1,151	1,187
みみじやー	1,235	1,141	1,100	986	1,039	1,055
たこくえー	1,188	1,109	1,076	955	1,022	1,002
おおぼちやー	781	748	727	629	681	692
たまん	710	617	670	568	662	629
あいご	574	549	630	505	489	579
くちなぎ	658	646	580	476	529	546

漁獲量とならんで重要な統計値がセリ単価です。左の表は、八重山で獲られた魚の、八重山漁協セリでの年間平均単価をまとめたものです。最も単価が高いのは、赤仁で、kgあたり1800円前後を推移しています。この数値は平均単価なので、漁法や大きさ、太り具合などで当然価格は変化してきます。近年の価格変動をみると、多くの魚種で**2010年に最も落ち込んでいます**が、2012年は、いくつかの魚種で改善が見られています。しかし、とくに赤仁、まくぶといった高級魚でのセリ単価の回復が今一つ、といったところです。価格の改善には、漁獲物の品質向上はもちろん、売り方・食べ方を工夫し、需要を伸ばしていくのが課題として挙げられるでしょう。

